

2019 年度事業報告書

2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

I. 社会貢献啓発事業(公益目的事業 1)

1. 機関誌の頒布事業

当協会の活動報告とともに、社会の課題を抽出し特集として企画・編集した。

2019 年度	特 集
No.391(4月号)	あなたの誕生日に寄付しませんか！
No.392(6月号)	人間はどこに向かうのか？～生物進化に学び、未来を創る～
No.393(8月号)	やってきたのは労働力ではなく人間だった
No.394(10月号)	「グレーインフラ」から「グリーンインフラ」へ
No.395(12月号)	塀の中でも外でも出番をつくる
No.396(2月号)	今、あらためてアダム・スミスに学ぶ

2. インターネットを利用した情報提供事業

当協会の活動をはじめ、企業の社会貢献・CSR 情報の提供、NPO・NGO 団体の活動最新情報を発信。

- (1) メールマガジン(毎月 1 日・15 日配信 配信数約 6,000 件)
- (2) 当協会 WEB サイト情報更新。
- (3) 理事長ブログ(2018.9.20～)第 18 回まで掲載。
- (4) (1)(2)を補完する情報発信源として、SNS (facebook)を利用。協会をより身近に感じてもらう事の出来るトピックを選び、職員全員で情報をアップ。 <https://www.facebook.com/philanthropy.or.jp>
- (5) 動画アプリ「1Roll」を導入し、2020 年 2 月～12 月までの間に 100 本の短時間動画(30～60 秒)を作成し、ホームページ、SNS (You Tube、Facebook、Twitter 等)での発信を行なう。8本配信済み。

II. 社会貢献促進事業(公益目的事業2)

1. 研修事業

(1) 定例セミナー

年度の初めは新任の CSR 担当者も多いことから、今年度も4月より5回シリーズで基礎講座を開講。7月～10月はSDGsの本質、社員参画、障がい者雇用についての講座を開催した。

実施日	内容	参加者数
第 355 回 2019 年 4 月 17 日	CSR 基礎講座 I 『SDGs 時代の社会と企業～持続可能な社会づくりに求められる企業の視野と戦略～』 ＜講師＞川北 秀人 氏 (IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表)	42 名
第 356 回 5 月 16 日	CSR 基礎講座 II 『ESG 投資の最新動向～投資家とともに目指す 2030 年の社会』 ＜講師＞水口 剛 氏 (高崎経済大学 経済学部 教授)	29 名
第 357 回 5 月 29 日	CSR 基礎講座 III 『社員ボランティアの立場から企業の CSR を考える』 ＜講師＞山崎 直子 氏 (UBS 銀行東京支店 ウェルスマネジメント本部 東京第一営業本部 部長 ディレクター)	38 名
第 358 回 6 月 11 日	CSR 基礎講座 IV 『CSR 担当者の役割と課題』 ＜講師＞木村 純子氏 (キヤノン株式会社 CSR 推進部 部長)	44 名
第 359 回 6 月 24 日	CSR 基礎講座 V 『SDGs で自分を変える、未来が変わる』 ＜講師＞川延 昌弘 氏 (株式会社博報堂 DY ホールディングス グループ広報・IR 室 CSR グループ 推進担当部長)	43 名
第 360 回 7 月 25 日	SDGs の本質 ～「誰一人取り残さない」社会の実現のために～ ＜講師＞黒田 かをり氏 (一般財団法人 CSO ネットワーク 事務局長・理事)	35 名
第 361 回 9 月 18 日	障がい者雇用への新しい道筋 ＜講師＞ ①金子 健二氏(株式会社マーキュリー) ②那部 智史氏(NPO 法人 AlonAlon 理事長)	35 名
第 362 回 10 月 8 日	「社内に SDGs を浸透させる」 ～社員参画を進めている企業の事例に学ぶ～ ＜講師＞ ①小谷 美樹氏(積水ハウス株式会社 CSR 部部長) ②喜納 厚介氏(パナソニック株式会社 CSR・社会文化部事業推進課課長)	55 名
第 363 回 11 月 12 日	【施設訪問】社会インフラとしての老人ホームに学ぶ高齢者問題 ＜講師＞ 岩城 隆就氏(株式会社さんわ、シルバーヴィラ向山代表取締役、社会福祉士)	12 名
第 364 回 12 月 5 日	「ESD(持続可能な開発のための教育)」に、社内浸透のヒントを学ぶ ＜講師＞ 阿部 治氏(立教大学総長補佐、同社会学部教授、ESD 研究所所長、元日本環境教育学会会長)	23 名

第 365 回 2020 年 1 月 16 日	「東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを SDGs の視点から考える」 ＜講師＞ 星加 良司氏(東京大学大学院 教育学研究科附属 バリアフリー教育開発研究センター 准教授)	20 名
第 366 回 2 月 5 日	「企業による文化・芸術支援の意義と課題を考える」 ＜講師＞片山 正夫氏(公益財団法人セゾン文化財団理事長)	27 名

(2) フィランソロピーセミナー

実施日	内容	参加者数
第 34 回 2019 年 7 月 24 日	『社内に SDGs を浸透させるヒント』～社員参画を進めている企業の事例に学ぶ～ ＜講師＞積水ハウス株式会社 CSR 部 部長 小谷 美樹氏 パナソニック株式会社 CSR・社会文化部 事業推進課 課長 喜納 厚介 氏	29 名
第 35 回 11 月 11 日	SDGs で自分を変える、未来が変わる ～SDGs を自分ごととして考える～ ＜講師＞株式会社博報堂 DY ホールディングス グループ広報・IR 室 CSR グループ 推進担当部長 川廷 昌弘氏	36 名

(3) 経営者向けエグゼクティブセミナー

2019 年度も、昨年度に続き企業経営者向けセミナーを開講。今年度のテーマは「SDGs 時代の経営と人材育成を考える」。SDGs は、2030 年における持続可能社会の実現に向け、企業の役割として、社会に対して責任を果たすという守りだけではなく、持続可能な社会の実現を積極的にリードすることを求める。今後の企業経営に必須の社会的視点、人材育成の視点から 5 回シリーズで学んでゆく。

実施日	内容	参加者数
第 1 回 2019 年 10 月 25 日	「深化するCSR調達 国際的な潮流と課題」 ＜講師＞足立 直樹氏(株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役)	6 社 9 名
第 2 回 11 月 14 日	「自立した従業員と共に創る CSR 経営」 ＜講師＞山崎 直子氏(UBS 銀行 東京第一営業本部 部長)	6 社 9 名
第 3 回 12 月 11 日	「経営者視点からの CSR/SDGs への取り組み～企業価値向上のための実践～」 ＜講師＞大久保 和孝氏(株式会社大久保アソシエイツ 代表取締役社長、公認会計士・公認不正検査士)	6 社 8 名
第 4 回 2020 年 1 月 23 日	「SDGs 達成にむけて金融の果たす役割とは ～ESG 投資の深化から～」 ＜講師＞河口 真理子氏(株式会社大和総研 調査本部研究主幹)	5 社 8 名
第 5 回 2 月 20 日	「SDGs時代の企業経営におけるダイバーシティと人権」 ＜講師＞村木 厚子氏(津田塾大学客員教授)	8 社 10 名

(4)「アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー」

～NPOリーダーのためのリーダーシップ育成プログラム～

① American Express Leadership Academy Global Alumni Summit 2019

「アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー」のスポンサーである

アメリカン・エクスプレス財団より招待を受けて、研修生とパートナー団体を対象にしたグローバル・サミットに藤川 祥子が出席した。

日時:2019年3月31日(日)から4月2日(火)

会場:(米国ワシントンDC)

② アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2019 第11期 東京

日時:2019年5月30日(木)から6月1日(土)2泊3日

会場:ホテルフクラシア晴海(東京都中央区)

総合監修:米倉 誠一郎氏(法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授)

講師:印南 裕二氏(アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc. 加盟店事業部門
副社長 兼 ゼネラル・マネージャー)

金子 健二氏(特定非営利活動法人 Check 代表理事)

田中 康之氏(株式会社 BRICOLEUR パートナー)

前野 隆司氏(慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授)

宮地 勘司氏(株式会社教育と探求社 代表取締役社長)

研修参加者:全国のNPOリーダー29名(公募および推薦)

プログラム:

<基礎講座(理念・哲学)>

・「NPOのリーダーシップにおけるイノベーション」(米倉 誠一郎氏)

・「イノベーションとリーダーシップ育成」(米倉 誠一郎氏)

<実務講座(業務遂行能力)>

・「幸せな社会の実現のために」(前野 隆司氏)

・「モチベーション・マネジメントと異文化理解」(田中 康之氏)

・「ユニバーサルイレ・チェック(フィールドワーク)」(金子 健二氏)

・「アメリカン・エクスプレスのリーダーシップ論」(印南 裕二氏)

<グループワーク>

・「私の履歴書」執筆を含む「自己探求の旅」(宮地 勘司氏)

・課題に対する企画の作成およびプレゼンテーション準備

・課題プレゼンテーション

③ アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2019 第11期 福岡

日時:2019年8月1日(木)から8月3日(土)2泊3日

会場:TKP ガーデンシティ PREMIUM 博多駅前(福岡市博多区)

総合監修:米倉 誠一郎氏(法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授)

講師:須藤 靖洋氏(アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc. 法人事業部門
副社長 兼 ゼネラル・マネージャー)

金子 健二氏(特定非営利活動法人 Check 代表理事)

小柳 佑衣子氏(株式会社教育と探求社 創発部サブマネージャー)

田中 康之氏(株式会社 BRICOLEUR パートナー)

前野 隆司氏(慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授)

研修参加者:全国のNPOリーダー29名(公募および推薦)

プログラム:

<基礎講座(理念・哲学)>

- ・「NPOのリーダーシップにおけるイノベーション」(米倉 誠一郎氏)
- ・「イノベーションとリーダーシップ育成」(米倉 誠一郎氏)

<実務講座(業務遂行能力)>

- ・「イノベティブ・リーダーシップのための幸福学」(前野 隆司氏)
- ・「モチベーション・マネジメントと異文化理解」(田中 康之氏)
- ・「ユニバーサルイレ・チェック(フィールドワーク)」(金子 健二氏)
- ・「アメリカン・エクスプレスのリーダーシップ論」(須藤 靖洋氏)

<グループワーク>

- ・「私の履歴書」執筆を含む「自己探求の旅」(小柳 佑衣子氏)
- ・課題に対する企画の作成およびプレゼンテーション準備
- ・課題プレゼンテーション

④ アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2019

第11期 東京『フォローアップ・セッション』

日時:2019年12月10日(木) 13:00~18:30

会場:フクラシアオアゾ丸の内(東京都千代田区)

参加者:5月の合宿研修に参加した研修生19名

⑤ アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2019

第11期 福岡『フォローアップ・セッション』

日時:2020年3月3日(火) 13:00~17:45

参加者:8月の合宿研修に参加した研修生15名

新型コロナウイルス感染拡大防止策としてビデオ会議にて実施

2. 顕彰事業

(1) 第17回企業フィランソロピー大賞

<スケジュール>

2019年	5月27日	公募開始
	10月2日	第1次選考委員会
	10月中旬~11月下旬	各社ヒアリング 13社
	12月6日	選考委員会・贈呈先企業決定
	12月25日	贈呈先企業の発表
2020年	2月21日	贈呈式(学士会館)

<選考委員>

委員長 國部 克彦氏(神戸大学 副学長/経営学研究科教授)

委員 井出 明子氏(日本電信電話株式会社 常勤監査役)
佐藤 雄二郎氏(株式会社共同通信社 代表取締役社長)
渋谷 健氏(コモンズ投信株式会社 取締役会長)

<応募状況>

公募25件 事務局推薦14件 計39件

<選考対象企業>

13社

<受賞企業>

★企業フィランソロピー大賞

第一勧業信用組合 (東京都新宿区)

北良(ほくりょう)株式会社 (岩手県北上市)

★企業フィランソロピー賞

【里山イノベーション賞】	石坂産業株式会社	(埼玉県三芳町)
【つなぐ灯(ともしび)賞】	大阪ガス株式会社	(大阪市)
【笑顔を届けま賞】	株式会社クラレ	(東京都千代田区)
【未来への道しるべ賞】	阪急阪神ホールディングス株式会社	(大阪市)
【地域モビリティ賞】	株式会社 光(ひかり)タクシー	(北九州市)

3. フィランソロピー・バンク事業 (個人寄付普及事業)

(1) NPO 向け

社名	内容
株式会社かんぽ生命保険	保険商品でウェブ約款を選択した顧客数に応じ寄付金を拠出するプログラムで環境分野の NPO 34 団体に寄付金を配布。
株式会社ジェーシービー	被災地支援の取組みとして実施予定。2019 年度(第 9 回)は、東日本大震災支援を中心に 29 団体を選定。当協会を通じて各団体へつなぐ寄付金の総額は約 6,600 万円。
Fidelity Asia Pacific Foundation	NPO の基盤整備を目的としたプログラムで 1 団体に寄付金を配布。
株式会社三井住友銀行	社員による寄付プログラムで、コミュニティ・次世代・環境の分野で活動する 15 団体、および社員がボランティアをしている 5 団体に寄付金を配布。
株式会社ファンケル	顧客のポイントを金額換算したものと、社員からの寄付を合算し、みちのく未来基金と全国 10ヶ所の重度心身障がい者施設に寄付。2018 年度(2019 年度実施) 寄付金総額は約 270 万円。
明治安田生命保険相互会社	チャリティー・コンサートの会場で集めた募金を、東北 3 県で「次世代育成」の分野で活動する 6 団体に寄付予定。寄付金総額は 1,328,923 円。 社会貢献活動基金を通じて、児童支援、被災者支援、障がい者・高齢者支援、LGBT 支援、環境保全活動などを行なう 10 団体に寄付予定。選考中。
東京海上日動あんしん生命保険株式会社	社員の給与天引き、代理店でのグッズ販売の一部を難病患児支援団体、認知症啓発団体に寄付。寄付先は前年度より継続。3 団体、寄付金総額は 1,901,000 円。
TOYO TIRE 株式会社	環境基金公募 2 年目。環境問題に携わる団体を公募の上、選考し助成する。1 団体上限 150 万円。助成総額 15,386,000 円(前年より約 300 万円減) 申請団体数:35 団体(前年より 5 団体増) 助成団体数:14 団体(前年より 5 団体減)
ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社	北海道胆振東部地震の支援のため社員募金 916,000 円を北海道厚真町で活動する団体に寄付。
株式会社 LIFULL	だれ一人取り残すことなく一人ひとりの“したい暮らし”を応援するための寄付プログラムをスタート。寄付対象は、ドメスティックバイオレンスを受けている人々、虐待を受けている人々、難民、貧困により住生活に困っている人々を支援する団体に対して寄付。9 団体、寄付総額:20,082,228 円。
アメリカン・エクスプレス・インターナショナル・インコーポレーテッド	2016 年熊本地震の復興支援。百貨店オリジナルギフトカードのチャージ金額1%を、公益財団法人熊本 YMCA の「震災復興支援募金」に寄付。2019 年の寄付金額は 122,520 円。
株式会社ゆうちょ銀行	環境分野で住民と共に課題解決に向けた活動をする 13 団体を選定。
株式会社電通アドギア	火災で焼失した首里城の再建支援として従業員募金と会社からの拠出により寄付。

デロイトトーマツコーポレートソリューション合同会社	東日本大震災復興支援の一環として、南三陸町図書館に図書カード寄贈
個人1名	子どもの教育活動を行なう団体への寄付 930,000 円

(2) 個人向け

① 東京海上日動あんしん生命 奨学金制度

- 応募資格等
 - ◆ 疾病により保護者を失った遺児で、経済的理由により支援を必要とし、高等学校等から大学等への進学希望がある方
 - ◆ 応募時における前年度の年間世帯収入金額が、指定の条件を超えない方
- 募集期間:2019年6月3日(月)～2019年10月31日(木)
- 募集人数:60名
- 申請人数:58名(前年より60名減)
- 内定人数:58名
- 給付額:年間 30 万円

② 東京海上日動あんしん生命 幼児教育支援制度

- 応募資格等
 - ◆ 疾病により保護者を失い、経済的理由により支援を必要とする未就学の遺児かつ2014年4月2日～2017年4月1日生まれのお子さまを養育する方
 - ◆ 応募時における前年度の年間世帯収入金額が、指定の条件を超えない方
- 募集期間:2019年6月3日(月)～2019年10月31日(木)
- 募集人数:30名
- 申請人数:10名(前年より3件増)
- 決定人数:10名
- 支援内容:
 - ◆ 株式会社ベネッセコーポレーションの「こどもちゃれんじ」を、年少～年長期間に1年間～最大3年間、無償で提供
 - ◆ 教材提供期間中、進級の際「進級お祝い金」として3万円を給付。
 - ◆ 進学前のランドセル寄贈
 - ◆ 進学お祝い金3万円贈呈

③「誕生日寄付事業」

誕生日という命を授かった日に感謝し、子どもたちの命を守り育てる活動を寄付で応援する取り組み。寄付のプラットフォーム(専用ウェブサイト)を活用し、個人の寄付の実践を促進する。集まった寄付金は、審査委員会を通じて選ばれた団体へ寄贈する。

➤ 実績(2020年3月末現在)

- ◆ 寄付金額 4,334,238 円
- ◆ 寄付者数 157 名

0～9歳	10代	20代	30代	40代
10名	1名	2名	6名	19名
50代	60代	70代	80代	90代
33名	36名	12名	2名	1名

※不明 35 名

※内 3 件 企業の設立記念日の寄付あり。

- ◆ 誕生日登録者数 244名

1月	2月	3月	4月	5月	6月
26名	26名	26名	15名	15名	13名
7月	8月	9月	10月	11月	12月
15名	25名	27名	19名	18名	19名

➤ 発足記念チャリティーパーティー

本事業の拡大策として開催

- ◆ 日時:2019年7月6日(土)18時～21時
- ◆ 会場:東海大学校友会館 阿蘇の間
- ◆ 参加人数:89名
- ◆ 内容:
 - ・寄付先団体からの活動紹介
 - ・シンガーソングライター 加藤 登紀子さんミニコンサート
 - ・チャリティーオークション
- ◆ チャリティーオークション売上:531,500円
オークションの売上は全額団体へ寄付(2020年4月末)。

➤ 寄付・寄贈いただいた法人

【法人】

アートコレクションハウス株式会社
味の素グループ 味の素 AGF 株式会社
王子ネピア株式会社
株式会社共同通信社
株式会社京王プラザホテル
サントリーホールディングス株式会社
シチズン時計株式会社
東急電鉄株式会社
ドーマル・ジャポン株式会社
永島橋本安國法律事務所
公益財団法人日本棋院
公益社団法人日本将棋連盟
株式会社ニュー・オータニ
株式会社ファンケル
合同会社ユー・エス・ジェイ (50音順)

賛同人

瀬戸内 寂聴 小説家・天台宗尼僧
川淵 三郎 公益財団法人日本サッカー協会 相談役
前野 隆司 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授
米倉 誠一郎 法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授
渋澤 健 コモンズ投信株式会社 取締役会長
加藤 登紀子 シンガーソングライター
日比野 克彦 東京藝術大学美術学部長
竹川 隆司 東北風土マラソン創始者 実行委員会副実行委員長
岡本 和久 I-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社 代表取締役社長
伊藤 宏一 千葉商科大学 人間社会学部 教授
小宮山 宏 三菱総合研究所 理事長
古賀 良彦 杏林大学 名誉教授
板東 久美子 日本司法支援センター理事長
加賀美 由加里 ドーマル・ジャポン株式会社 会長

土谷 貞雄 株式会社貞雄 代表
 盛田 淳夫 敷島製パン株式会社 代表取締役 社長
 宗次 徳二 株式会社壺番屋 創業者特別顧問
 残間 里江子 プロデューサー
 中村 陽一 立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 教授
 澤上 篤人 株式会社さわかみホールディングス 代表取締役

(2020 年 3 月末日現在／敬称略 順不同)

4. フィランソロピー社会基盤整備事業

(1) 個別企業社会貢献推進事業

A. 従業員ボランティア支援事業

①「ボランティアウェブ」利用企業

社名	内容
株式会社 NTTドコモ	2016 年 4 月より通年利用。2020 年 3 月にて終了。
日本ロレアル株式会社	2019 年 5 月末～6 月のプログラムのみの期間限定利用。全世界でのボランティア強化月間のプログラムの受入先調整及び申込受付業務を受託。首都圏 630 名分、大阪 34 名分、名古屋 6 名分を提供。506 名が申込み、468 名が実際に参加。
株式会社ジェーシービー	2011 年より、「JCB 社会貢献プログラム」のボランティア受付管理を「ボランティアウェブ」により継続利用中。4～3 月までの申込者は 1325 名。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、2 月 18 日以降、持ち帰りプログラム以外のプログラムに従業員が申し込めないように依頼があり、対応している。
サントリーホールディングス株式会社	2017 年 3 月より、社内の「働き方改革」の一環で、「ボランティアウェブ」を利用中。今期よりボランティアウェブとつなげた社内ボランティアサイトを立ち上げ、年 2 回のボランティア推進月間を設けている。
日本たばこ産業株式会社	2019 年 3 月より、通年利用。
株式会社電通	2019 年 4 月より、通年利用。2020 年 3 月にて終了。
株式会社三菱 UFJ 銀行	2019 年 4 月より、通年利用開始。社内、社外含め様々な分野で多様な部門より活発に参加。4 月から 2020 年 3 月末までで、188 名の申し込みがあり、実際には 151 名が参加した。
株式会社 LIFULL	2019 年 7 月より、通年利用。

② 個別コーディネート企業

社名	内容
アクセンチュア株式会社	新入社員研修プログラムや 2019 年度チャリティー・チャレンジプログラムへの協賛・社員ボランティア参加に向け企画内容の協議を開始した。2018 年 9 月から 2019 年 8 月のプログラム参加人数はのべ 978 名。
クーパービジョン・ジャパン株式会社	新規会員検討を前提として、5 月 24 日(金)に、役員・部長クラス 8 名に対して「絵本のシール貼り」プログラム(シヤンティ)を実施。9 月 3 日(火)には本社から全国の拠点をつなぎ、83 名が同プログラムに参加した。
株式会社三菱 UFJ 銀行	社内プログラムを実施。 ・キワニスドールづくり 8 月 20 日(火)49 名参加 ・セカンドハーベスト名古屋 9 月 6 日(金)18 名参加
アステラス製薬株式会社	全国の事業所から依頼を受け、地元でボランティア活動を企画する際のパートナーを調査・推薦する事業を実施。7 月～

	10月までに、のべ12事業所から問合せがあり、のべ34団体を推薦、その内3事業所でボランティア活動が実施された。
大日本印刷株式会社	従業員の被災地ボランティアプログラムの企画および実施を支援。今年度は、7月に37名にて宮城県石巻市(東日本大震災)、9月に23名にて広島県広島市・呉市(西日本豪雨)、10月に22名で熊本県阿蘇郡南阿蘇村、上益城郡益城町(熊本地震)にて、12月に18名で岩手県陸前高田市(東日本大震災)にて実施。

B. 助成支援事業

プログラム名・社名	内容
田辺三菱製薬手のひらパートナープログラム」田辺三菱製薬株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度活動報告会 2019年10月3日(大阪)、10月7日(東京) ・2019年年度公募 2019年10月1日より受付開始。締切11月15日。 ・応募数:31件 ・採択数:15件(総額1,000万円)
「JT NPO 助成事業」 「JT SDGs 貢献プロジェクト」 日本たばこ産業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・JT NPO 助成事業の継続応募15件の書類審査を行なう。 ・JT SDGs 貢献プロジェクトが2020年1月15日より開始。 <p>格差是正／災害支援／環境保全の3分野で活動をする団体に助成をするプロジェクトの外部事務局として、立ち上げ準備及び運営支援を行なう。</p>

C. 社会貢献活動支援事業

プログラム名・社名	内容
「国産小麦ゆめちからの栽培研究プログラム」 敷島製パン株式会社	2019年6月16日(日)利根工場(千葉県野田市)にて「工場見学&食料気球自給率を考えるワークショップ」を開催。中高生30名が参加。
「森と紙のなかよし学校」 日本製紙株式会社	日本製紙が所有する菅沼社有林(群馬県利根郡)で小学生親子を対象に行なう環境教育プログラム。第24回を2019年9月7日(土)-8日(日)に実施。11家族30名が参加。
「ボランティア演芸会」 王子ネピア株式会社	業務用大人オムツ等の売上一部の支援により、全国の介護施設で、全日本おむつ団と称する東西10名の落語家による演芸会を56回開催(新型コロナウイルス感染拡大により、3月開催予定の4回が中止となった)。
「森里海つなぐプロジェクト」 東京ガス株式会社	<p>2017年度から開始した、森、里山、海、をつなぐ環境社会貢献活動の全体の支援。有識者を含む運営委員会で進捗確認・意思決定をしながら遂行。</p> <p>6月2日:海の活動として神奈川県海の公園にて「アマモ再生イベント」実施。(東京ガスの職員とその家族47名を含み総勢167名が参加。)</p> <p>11月16日:6月の活動にて採取したアマモの種を育て播く海の活動を実施(東京ガスの職員とその家族40名参加)。</p> <p>8月25日~27日:中学生を対象に、東京都の都心部と里山とをつなぐ活動を実施(中学生9名、高校生・大学生サポーター11名参加)。11月24日報告会開催(120名参加)。</p> <p>2020年2月29日:里の活動として、東京都清瀬市の保全林にて里山保全活動を実施予定していたが新型コロナウイルス感染拡大により中止。</p>

「新入社員研修」 東京海上日動火災保険株式会社	2019年度新入社員 579 名の新入社員研修について全国 13 地域での研修プログラムを作成。新規会場：北海道厚真町、岡山県真備町、山口県山口市 2019年4月22日～25日に実施。
「SAVE SOAPプロジェクト」 アンファー株式会社	「認定特定非営利活動法人 シェア＝国際保健協力市民の会」と協働。衛生教育の一環として石鹸配布、さらに補助として、洗うと絵が浮き上がる絵本も活用し 2018年5月からカンボジア北部のプレアビヒアにて継続して展開している。
フィリップ モリス ジャパン 合同会社	災害復興支援ボランティアの受付業務支援。宮城県名取市、石巻市、岩手県釜石市、愛媛県宇和島市の4会場の受付業務実施。
プルデンシャル ジブラルタ ファ イナンシャル生命保険株式会社	「PGF 生命オープンアカデミー」の運営支援 都内2校での授業実施支援と、2020年度に向けたプログラム企画のための調査を実施。 <授業実施> ・日出学園中学校・高等学校 中学3年生 96名 ・武蔵野大学附属千代田高等学院 高校1年生 71名 <調査実施> ・株式会社みずほフィナンシャルグループ ・株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
大和ハウス工業株式会社	「エンドレス募金」公募団体の財務状況チェック。 2019年度は15団体を評価。

D.物品寄贈「あげます・もらいます」事業

寄贈時期	企業	寄贈物品	寄贈先 団体数
2019年5月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	毛糸	1団体
2019年7月	楽天株式会社	タオル、 タンブラー、 マグカップ、 アクセサリー	6団体
2019年7月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	ハサミ	1団体
2019年8月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	メモ帳	6団体
2019年8月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	エプロン	2団体
2019年8月	ジョンソン・エンド・ジョンソン グループ ヤンセンファーマ株式会社	ファイル類	2団体
2019年8月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	デスクライト	2団体
2019年8月	ジョンソン・エンド・ジョンソン グループ アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社	文具類	5団体
2019年9月	株式会社 J-オイルミルズ	自社商品	1団体
2019年9月	株式会社インフォメーション・ディベロップメント	お米・絵本	1団体

2019年12月	楽天株式会社	楽天オリジナルグッズ	3団体
2020年3月	株式会社J-オイルミルズ	文房具	9団体
2020年3月	アステラス製薬株式会社	タオル	1団体

(2)被災地復興支援事業

A.サントリー・チャレンジド・アスリート

①第6期「チャレンジド・アスリート奨励金」

7月より公募開始。個人、団体に総額約3,600万円給付(個人約1,500万円、団体約2,100万円)。今期よりアスリートのみならず指導者に転身した方も含め審査した。今回で最後となる。2020年1月30日(木)に岩手県、宮城県、福島県にて記者発表実施した。

申請数

	個人	団体
岩手県	12(6減)	9(1減)
宮城県	32(1増)	14(3減)
福島県	13(5減)	7(1減)

給付数

	個人	団体
岩手県	9(2減)	6
宮城県	24(2増)	9(1減)
福島県	13(4減)	6(2減)

6期まで個人部門のべ294名、団体部門のべ129団体、計約2億600万円を給付した。

<審査員> 3名

福留 史朗氏(パラリンピアン:陸上、一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 理事)

増子 恵美氏(パラリンピアン:車椅子バスケットボール、

一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 理事)

高橋 陽子(公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長)

②「チャレンジド・スポーツアカデミー」～アスリートビジット～

チャレンジド・スポーツに対する子どもたちの理解を深めるため、チャレンジド・

アスリートなどが3県の学校を訪問し、講演や車椅子バスケットボール体験会などを実施。

・アスリートビジット

開催日	実施会場	生徒数
2019年 5月16日	宮城県東松島市立矢本第一中学校	177名
6月25日	福島県富岡町立富岡第一小学校	16名
7月11日	岩手県岩泉町立岩泉中学校	90名
9月13日	宮城県松島町立松島第五小学校	20名
10月11日	福島県立ふたば未来学園	80名
10月30日	岩手県普代村立普代小学校	23名
2020年 2月3日	福島県三春町立中妻小学校	54名

・チャレンジド・スポーツ体験教室

学校ではなく公募によりチャレンジド・スポーツの体験会を実施。本年は岩手県にて開催。

開催日	実施会場	参加者数	実施競技
2019年 8月4日	夢アリーナたかた (岩手県陸前高田市)	110名	陸上(レーサー)、ボッチャ、 車椅子バスケットボール、 卓球バレー、ウィルチェアラグビー、 アンプティサッカー *卓球バレー大会も同時開催。

③「チャレンジド・スポーツ育成サポート」

チャレンジド・スポーツ育成のため、基盤強化・環境整備などを支援。本年より各県にて車椅子導入教室を実施し、障害者スポーツのすその拡大に向けた講座を実施する。

車椅子導入教室

開催日	実施会場	参加者数	講師
2019年 4月20/21日	盛岡市立乙部体育館 ふれあいランド岩手	12名 30名	橋本大佑氏 (ドイツ障害者スポーツ連盟公認 リハビリテーションスポーツ 指導者)
7月21日	宮城県多賀城市総合体育館	21名	橋本大佑氏 (ドイツ障害者スポーツ連盟公認 リハビリテーションスポーツ 指導者)

C. チャリティーチャレンジ・プログラム 2019

2018年まで中高生を中心に、被災地支援事業の一環として取り組んできたチャリティー・リレーマラソンを、今年度は、ワークショップ型プログラムに変更し実施した。

特別協賛: EY新日本有限責任監査法人

協賛: アクセンチュア株式会社、株式会社 ジェーシービー、株式会社ブリヂストン

助成: 公益財団法人 JKA

<プログラム>

➤ 被災地スタディツアー

東日本大震災発災後、復興のために誰が何をどのようにし、どういうことが起きているのかを学び、時系列で誰が取り残されているのか、なぜ取り残されたのかを考える。将来的な時間軸でも考える。考えた課題を東京ワークショップのディスカッションテーマとした。

- ◆ 期間: 2019年5月11日～12日
- ◆ 場所: 石巻市、女川町
- ◆ 参加者: 56名(東京都、千葉県、宮城県、福島県の中高生、大学生ボランティア、企業ボランティア)
- ◆ 協力: 女川町長 須田善明氏、石巻日日こども新聞 太田倫子氏

➤ 東京ワークショップ

5月に気づいた課題について、中高生ができることを考え、活動すると同時にユニバーサル運動会などで新たな気づきを得、最終日に自分たちは何をすべきか、また、自分は何をするか、を発表した。

- ◆ 期間: 2019年7月13日～15日
- ◆ 場所: 東京都内

- ◆ 参加者:100名(東京都、千葉県、宮城県、福島県、熊本県からの中高生、大学生ボランティア、企業ボランティア)
- ◆ 協力:EY 新日本有限責任監査法人、株式会社ブリヂストン、アクセンチュア株式会社、東京大学、石巻日日こども新聞 太田倫子氏

➤ **西日本豪雨被災地視察ツアー**

2018年の西日本豪雨被災地であり、かつ原爆の記憶を伝える活動を70年続けている広島にて、災害の記憶を伝えることについて考える。

- ◆ 期間:2019年11月16日～17日
- ◆ 場所:広島市安芸郡坂町、広島市(平和記念公園)
- ◆ 参加者:32名(東京都、宮城県、福島県、熊本県からの中高生、大学生ボランティア)
協力:ひろしまNPOセンター

(3) **コンサルティング事業**

郡山市農福連携推進モデル構築事業

福島県郡山市(農林部 園芸畜産振興課)からの受託事業

- ◆ 目的:農業と福祉の両分野が連携することにより、農業分野における労働力の確保、生産力の維持、福祉分野における障がい者等の活躍の場の拡大及び自立支援を図る
- ◆ 履行期間:2019年8月～2021年3月末(3年間)
- ◆ 受託金額:8,800,000円(2019年度)
- ◆ 活動状況:
 - 初年度テーマ:農福連携の実現に向けた課題抽出と参加農家・福祉団体など拡充
 - ★就労弱者(障がい者、引きこもり)の施設外就農体験の実施(課題抽出のためのテストケース)
 - ・協力団体の抽出と調整
 - ・テスト就農の実施
 - 8農家、9福祉団体を抽出。3農家、4団体で26名の就労弱者(障がい者、ニート・引きこもり)がテスト就農実施。
 - ★「ノウフクフォーラムふくしま」開催(市民、関係団体向け)
 - ・関係団体への周知と事業参加者の確保(農業、福祉双方)
 - 約150名(農業関係 約20名、福祉関係 約60名、行政・その他 約40名、講師・スタッフ 約30名)
 - ★ジョブコーチ育成プログラム作成
 - ・国(農水省)との連携を模索
 - ・先進地視察研修の実施(3事例)
 - 埼玉福興(株)(埼玉県熊谷市)(9月)、京丸園(株)(静岡県浜松市)(12月)
 - なないろ畑(神奈川県大和市)(2月)

Ⅲ. 共生社会創造事業(公益目的事業 3)

1. 共生社会づくり推進事業

(1) フィランソロピー名刺事業

フィランソロピー普及と障がい者の経済的自立のための名刺制作事業。

1 件:100 枚

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
制作件数	333	356	348	308	376

(2)「企業の学校教育・青少年教育支援活動に関する調査」報告書

次世代教育のための学校・企業連携を促進することを目的に実施したアンケート調査の報告書を発行(B5 版 92 ページ 製作協力費 1,000 円)

2. 次世代育成事業

(1) 寄付推進事業(「寄付育」)

地域課題を題材にした課題解決学習を通して、子どもたちの「生きる力」を育てる教育機会を創出、普及する事業。日本フィランソロピー協会は、事業設計の相談、寄付先候補団体の推薦、校外での依頼状配布・募金活動のサポートを実施した。

- ・実施校・対象学年・人数:東京都杉並区立杉並和泉学園 9 年生(中学 3 年生)55 名
- ・期間:2019 年 6 月～9 月 14 時間+贈呈式
- ・概要:今年度は、杉並区ボランティアセンターのスタッフより、杉並区での社会課題に対する活動についての講話をしてもらいほか、日本フィランソロピー協会より推薦した 3 団体のプレゼンテーションと生徒によるディスカッションを経て、生徒たちが杉並区内で子ども食堂を運営する団体への寄付を決定した。商店街で実施した募金活動により、273,545 円の寄付金が集まり高円寺こども食堂、ころころ食堂への寄付が行なわれた。

(2) 学校運営支援

中学校が主に 2 年生を対象とする「職場体験学習」を受け入れる団体として、会員企業を紹介した。

- ・実施校・対象学年・人数:東京都江東区立深川第二中学校 2 年生 2 名
- ・実施企業:NEC ソリューションイノベータ株式会社
- ・期間:2019 年 8 月 27 日(火)～29 日(木)
- ・概要:ICT 企業の仕組みだけでなく、「障がい者」をテーマとし、聴覚障がい者である担当者を中心に、生徒たちは障がい者について、また地域の障がい者福祉団体・施設が同社を訪れて実施する月 1 回のマルシェの手伝いを通して、企業と障がい者との関係について学んだ。

(3) 次世代育成事業

2018 年まで中高生を中心に、被災地支援事業(公2)の一環として取り組んできたチャリティー・リレーマラソンを、今年度は、次世代育成の視点(公3)を盛り込み、ワークショップ型プログラムに変更し実施した。プログラムを、「中高生たちが被災地の現状を学び、未来に向かって誰も取り残さないために何をすべきかを考える」をテーマに再構成し、公益財団法人 JKA の助成金を有効に活用した。

(4) インターンシップ受入れ

これからの社会貢献活動を担う次世代の育成を目的として、2019年度も、積極的にインターンシップ受け入れに取り組んだ。8月参加校、専修大学(1名)武蔵野大学(2名)、文京学院大学(1名)

IV. 会員の推移

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
正会員	33	29	27	26	25
賛助会員(法人)	81	88	93	101	102
法人計	114	117	120	127	127
賛助会員(個人)	83	88	91	94	84

《正会員》

■退会 1社

- ・リーフラス株式会社

《賛助会員》

■入会 8社

- ・東急株式会社
- ・ジブラルタ生命保険株式会社
- ・株式会社LIFULL
- ・株式会社共同通信社
- ・クーパービジョン・ジャパン株式会社
- ・株式会社電通アドギア
- ・明治ホールディングス株式会社
- ・有限会社椎名洋ラン園

■退会 7社

- ・株式会社NTTデータ
- ・株式会社ゆうちょ銀行
- ・富士ゼロックス株式会社
- ・ロート製薬株式会社
- ・株式会社レオパレス21
- ・MSD株式会社
- ・ファイザー株式会社

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2020年5月
公益社団法人日本フィランソロピー協会